

松ヶ崎の史跡めぐり

1 WEB とあわせてより深く知る！



「松ヶ崎散歩」は、松ヶ崎郷土史研究会が運営している、松ヶ崎のディープな歴史と文化財を紹介するWEBサイトです。松ヶ崎をめぐる際は、本冊子とあわせてご活用ください！

<https://matsureki.com>
松ヶ崎散歩



2 レンタサイクルで楽しくめぐる！

道の駅たるみず「湯っ足り館」では、松ヶ崎の史跡や新たな観光スポットをめぐるための自転車をレンタルすることができます。桜島や錦港湾の絶景を楽しみながら松ヶ崎の魅力を見つけに行きましょう！



- 利用時間 9:00 ~ 17:00
- 料 金 2時間 300円 (以降 1時間毎 100円)
保証金 1,000円
- 子供用自転車あり

秀家は「休復」と名乗り、屋敷から約三キロメートル離れた居世神社へ、雨の日も風の日も日参し、その途中、平野の氏神と、七人塚へも訪れたといわれています。

七人塚とは、平家の落人として辺田の地に潜居士着した平野一族が、追ってきた源氏方の山伏七人を討伐し、その亡骸を手厚く葬り、霊を慰めるために塚を建てた場所とされます。ここは宇喜多秀家潜居跡にほど近い場所にあります。

島津家では家康に秀家の助命を嘆願しましたが許されず、さらに幕臣である山口直友、本田正信等を介して願い出ました。その結果、家康は「これは島津の面目をつぶさぬため赦す」と言ったといわれています。

秀家は、刀剣、盃、盆などを居世神社へ奉納し上洛したといわれています。上洛後、駿河の国（現在の静岡県中部）の久能山に幽閉され、慶長十一年（1606）八丈島へ流され、長寿を保ち八十四歳で没しました。

潜居跡には小さな石室型の祠がたっています。